

単元名 貴族が生み出した新しい文化

配当時間 4時間

単元の目標 (1) 貴族の生活や文化を手掛かりに、日本風の文化が生まれたことを理解するとともに、当時の貴族の生活や文化に関する情報を適切に読み取り、調べたことをまとめることができる。
 (2) 貴族の服装や建物、日常生活や行事などの様子など、貴族の生活とその頃の文化の特色を関連付けて考え、調べたり考えたりしたことを表現することができる。
 (3) 学習問題の解決に向けて意欲的に追究するとともに、現在まで受け継がれている年中行事や遊び、かな文字といった現在の日本とのつながりについて考えようとする。

標準的な展開例

06030106_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 都が京都に移されたころの貴族の暮らしについて調べ、単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 貴族の暮らしについて気付いたことを発表し、単元の学習問題をつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・生活の様子、貴族の屋敷 ★ 貴族が政治を行っていたころ、どのような文化が生まれたのだろう <p>○ 学習計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・調べる内容…文化（文字・服装・遊びなど）、藤原道長 ・調べる方法…教科書、資料集、図書資料、インターネットの活用 ・表現の仕方…ノートにまとめる </p> <p>2 藤原道長について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 藤原道長について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・天皇に代わって政治をおこなった ・寝殿造り ・年中行事 <p>3 日本風の貴族文化や貴族の願いを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本風の貴族文化について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・大和絵、けまり、七夕 ○ 紫式部、清少納言について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・『源氏物語』『枕草子』の作者 ○ 貴族の悩みや苦しみについて調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の地位、仏教の衰退 <p>4 単元のまとめをし、学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 貴族の文化についてノートにまとめる。 ○ 学習問題について、自分の考えをまとめ、話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・十二単、けまりや和歌など服装や遊びについて写真や絵で紹介し、興味をもたせる。 ・P. 71の奈良時代の人々の様子とP. 86～87の平安時代の貴族を比べ、服装が大きく変化していることに気付かせる。 <p>【評】 貴族の暮らしについて調べ話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤原道長が詠んだ歌を読み、その意味を理解することを通して、強大な権力に気付かせたい。 ・天皇中心の世の中から、貴族中心の世の中に变化していったことをつかませる。 ・遣唐使を廃止したことにより、中国の文化を基にして、日本風の新しい文化が生まれたことを気付かせる。 <p>【評】 日本風の文化が生まれたことを調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かな文字が発明されたことで、気持ちや考えを自由に表記することができるようになったことを理解させる。 ・天皇中心の政治から貴族が中心となった世の中だったが、貴族の中にも悩みがあったことを押さえ、仏教の力に頼っていることをつかませる。 ・藤原道長がどのように権力をもったか、新しい日本風の文化とはどのような文化があったかをノートにまとめさせる。 ・今に残る年中行事や遊びについて話し合い、当時できた文化が現在まで残っていることを確認する。 <p>【評】 自分の考えをノートに書いたり、話し合ったりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】